

学習指導案 略案様式（特別の教科 道徳を除く）

5年1組	指導者	河野 宏輝	教科等	国語科
単元	単元名等	文章の要旨をとらえ、考えたことを伝え合おう		
	目標	評価規準	← ※どちらかを選択し、 <u>で囲ってください。</u>	
	知識及び技能	知識・技能	○原因と結果など情報と情報との関係について理解することができるようにする。【知（2）ア】 ○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができるようにする。【知（1）カ】	
	思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	◆ <u>事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるようにする。</u> 【思C（1）ア】 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるようにする。【思C（1）オ】	
	学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	○粘り強く文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとするようにする。	
単元の学習展開（全7時間）				
導入	<input type="checkbox"/> 学習の見通しをもつ。 <input type="checkbox"/> 「見立てる」読み、事例や文章構成に着目して筆者の主張を捉え、自分の考えを伝え合う。			
展開	<input type="checkbox"/> 「言葉の意味が分かること」を読み、筆者の主張を捉える。 <input type="checkbox"/> 文章の要旨を150字以内でまとめる。 <input type="checkbox"/> 文章構成や事例の挙げ方に着目して、筆者の考えや表現の工夫に対する自分の考えをまとめる。			
終末	<input type="checkbox"/> 自分の考えを、グループ内で伝え合う。 <input type="checkbox"/> 学習を振り返る。			

本時 (3/全7時間)	ねらい	「言葉の意味が分かること」の文章を、 筆者の考えを述べている段落や筆者の考えを詳しく説明している段落に着目することによって、 「はじめ」「中」「終わり」に分けることができるようにする。 （下線部…単元の評価規準との関連【◆思考・判断・表現 ワークシート・タブレットの記述】）	
	学習過程	「めあて」 『見立てる』の学習を生かして、文章を『初め』『中』『終わり』に分けよう。 『課題』 『筆者の考えの中心は、文章のどこに書いてあるかな。』	
		『まとめ』 『筆者の考えの中心は、文章の初めと終わりに書いてあった。』 「振り返り」の視点 ・「見立てる」の学習を生かして、文章を「初め」「中」「終わり」に分けられたか。	
児童に 対する 手立て	【予想されるつまずき】	【必要な支援・手立て】	
	・意味段落を捉えることが難しい。 ・筆者の考えが書かれている一文を捉えることが難しい。	・挿絵と繰り返し出てくる言葉を照応させ、内容のまとまりを捉えやすくする。 ・接続語「しかし」「つまり」「さらに」に着目させる。	